

目次

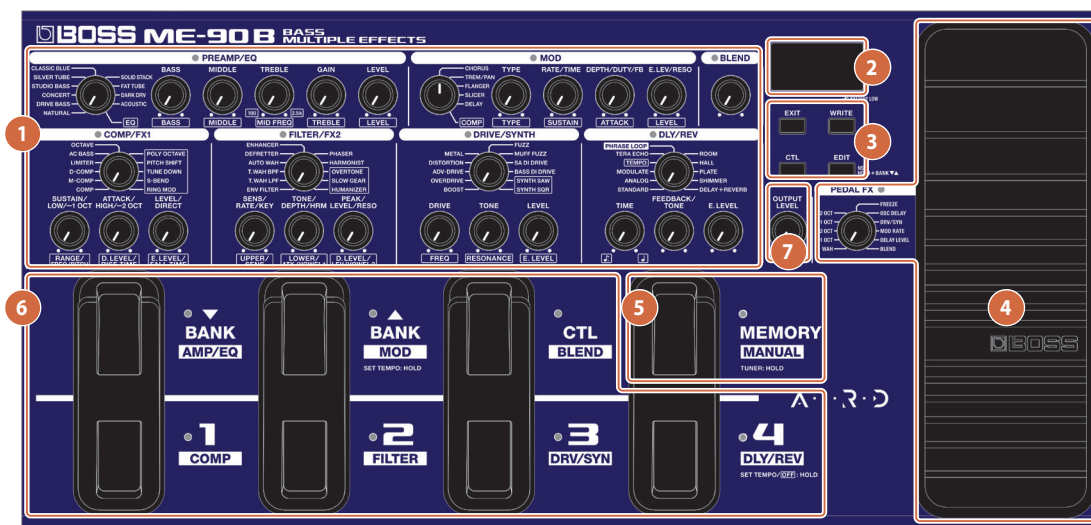
各部の名称とはたらき	2
トップ・パネル	2
リア・パネル（機器の接続）	3
電池をセットする	3
音を出す	4
電源を入れる／切る	4
接続した機器の種類を設定する	4
ベース・アンプの種類を選ぶ（アウトプット・セレクト）	4
音量を調節する（アウトプット・レベル）	4
ベースをチューニングする（チューナー）	4
エフェクトの接続順	5
信号の流れ（シグナル・フロー）	5
音色を呼び出す／保存する（メモリー・モード）	6
メモリーの構成	6
マニュアル／メモリー・モードを切り替える	6
メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えたときの動作 を設定する	6
音色（メモリー）を呼び出す	6
つまみの位置を確認する	6
バンクを切り替えたときの動作を設定する	7
音色を保存する（メモリー・ライト）	7
音色の設定を変える（メモリー・エディット・モード）	7
便利な機能	8
演奏テンポに合わせた効果を付ける（タップ・テンポ）	8
モジュレーションの速さやディレイ・タイムをペダルで設定する	8
フレーズ・ループ演奏をする	9
[CTL]（コントロール）ペダルの機能を設定する	10
ペダルの機能を設定する	10
ペダルを押したときの動作を設定する	10
外部エフェクターを SEND / RETURN 端子に接続して使う	11
エクスプレッション・ペダルの調整	11



パソコンと USB 接続して使う	12
USB ドライバーのインストール	12
パソコンと ME-90B の間でオーディオ信号を送受信する （USB オーディオ）	12
パソコンと ME-90B の間で MIDI 情報を送受信する（USB MIDI）	13
IR データを取り込んでスピーカー・シミュレーターとして使用する	13
ワイヤレスでモバイル機器と接続する	14
BT-DUAL を取り付ける	14
モバイル機器とワイヤレスで接続して音を聞く	14
モバイル機器を登録する（ペアリング）	14
ペアリング済みのモバイル機器を接続する	15
Bluetooth 機能を無効にする	15
モバイル機器の専用アプリから ME-90B を操作する	15
専用アプリと接続する	15
EV-1-WL / FS-1-WL とワイヤレスで接続して ME-90B を 操作する	15
機器全体の設定をする（システム設定）	16
設定項目一覧	16
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	17
トラブルシューティング	18
主な仕様	19

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 エフェクト設定つまみ

ME-90Bに搭載されている各エフェクトの設定をします。

※ エフェクトの各パラメーターについて、詳しくは『ME-90B パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

2 ディスプレイ

ME-90B のさまざまな情報を表示します。

メモ

電池が消耗してくるとディスプレイの BATTERY LOW インジケーターが点滅します。
新しい電池と交換してください。



3 [EXIT] / [WRITE] / [CTL] / [EDIT] ボタン

ボタン	説明
[EXIT]	前の画面に戻したり、操作を取り消したりするときに使用します。
[WRITE]	メモリーの設定を保存したり、コピー操作を実行したりするときに使用します (P.6)。
[CTL]	メモリー・モード時の、[CTL] ペダルの動作を設定します (P.6)。
[EDIT]	メモリー・エディット・モードに入ります (P.7)。

4 エクスプレッション・ペダル

ペダルのつまみ部分を踏み込むとペダル・エフェクトのオン／オフが切り替えられます (PEDAL FX インジケーターが点灯／消灯)。

ペダル・エフェクト	インジケーター	ペダルの動作
オフ	消灯	ボリューム・ペダル
オン	点灯	[PEDAL FX] つまみで設定したエフェクト (ワウなど) のコントロール

※ エクスプレッション・ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視／指導してください。

5 [MEMORY / MANUAL] ペダル

メモリー・モードとマニュアル・モードを切り替えます (P.6)。
2 秒以上長押しすると、チューナーがオンになります (P.4)。

6 ペダル・スイッチ

メモリー・モードでは、バンクとメモリーを切り替えます。マニュアル・モードでは、各エフェクトを個別にオン／オフします。

メモリー・モードのとき

ペダル・スイッチでバンクとメモリーを切り替えます。

スイッチ	機能
[BANK▼]、[BANK▲]	バンクを切り替えます。
[1] ~ [4]	メモリーを切り替えます。
[CTL]	「[CTL] (コントロール) ペダルの機能を設定する」 (P.10) で設定した動作をします。

マニュアル・モードのとき

ペダル・スイッチで各エフェクト (COMP/FX1、FILTER/FX2、DRIVE/SYNTH、AMP/EQ、MOD、DLY/REV、BLEND) を個別にオン／オフします。

メモリー・モードとは?

エフェクトの組み合わせと設定 (音色) を 72 個の「メモリー」として呼び出せます。

72 個のうち、36 個 (4 メモリー×9 バンク) は、ユーザー・バンクに保存することができます (プリセット 9 バンク、ユーザー 9 バンク)。

ペダルを使って瞬時にバンクとメモリーを切り替えることができます。

マニュアル・モードとは?

ペダルを使って各エフェクトのオン／オフできます。

エフェクター・ボードに並んだコンパクト・エフェクターを個別にオン／オフする感覚で使用することができます。

7 [OUTPUT LEVEL] つまみ

OUTPUT 端子、PHONES 端子の音量を調節します。

※ BALANCED OUTPUT 端子の音量は調節されません。

リア・パネル（機器の接続）



1 BALANCED OUTPUT 端子

PA ミキサーなどに接続します。

「AMP/LINE」スイッチの設定にかかわらず、常に「LINE」の設定が適用されます。

※ BALANCED OUTPUT 端子のピン配置



2 [GND/LIFT] スイッチ

BALANCED OUTPUT 端子の 1 番ピン (GND) を ME-90B のグラウンドから切り離すことができます。

アース・ループなどによってハムやノイズが出た場合は「LIFT」に切り替えます。通常は GND で使用します。

3 INPUT 端子

ベースを接続します。

4 OUTPUT 端子

ベース・アンプやミキサーなどに接続します。モノで使用するときは L/MONO 端子のみをご使用ください。

5 [AMP/LINE] スイッチ

ベース・アンプに接続するときは「AMP」に設定してください。ミキサーやパワード・スピーカーに接続するときは「LINE」に設定してください。接続機器に応じた最適な出力になります。

6 PHONES 端子

別売のヘッドホンやレコーダーをステレオ・ミニ・プラグで接続します。「AMP/LINE」スイッチを LINE に設定してご使用ください。

7 SEND / RETURN 端子

外部エフェクターを接続します。

SEND 端子と RETURN 端子の間に外部エフェクターを接続して、ME-90B のエフェクトの一部として使用することができます (P.11)。

8 Bluetooth ADAPTOR 端子

別売りの Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor (品番: BT-DUAL) を接続して、ワイヤレスでスマートフォン/タブレットなどのモバイル機器 (以降、「モバイル機器」と表記します) の音楽を再生したり、モバイル機器のアプリからエフェクトをエディットしたりすることができます (P.14)。

OUTPUT 端子、PHONES 端子から出力される音量はオーディオ・プレーヤーの音量調節で調節してください。

9 USB COMPUTER 端子

USB ケーブルでパソコンに接続し、ME-90B とパソコンとの間でオーディオ信号のやりとりや ME-90B 専用アプリで音色のエディットなどをすることができます (P.12)。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

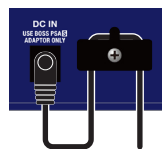
10 [POWER] スイッチ

電源をオン/オフします (P.4)。

11 DC IN 端子

AC アダプター (BOSS PSA-100S : 別売) を接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。



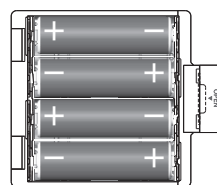
※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞る、すべての機器の電源を切ってください。

12 接地端子

外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

電池をセットする

本体底部の電池ボックスに電池をセットします。電池の向きに注意してセットしてください。



※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

※ AC アダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。別紙の「安全上のご注意」と「使用上のご注意」に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

音を出す

電源を入れる／切る

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. ME-90B の [POWER] スイッチを押して、電源を入れます。
2. 接続しているベース・アンプの電源を入れます。

電源を切る

1. 電源を切る前に、次のことを確認します。
 - 接続している機器の音量は最小になっていますか？
 - 設定を変更したメモリーは保存しましたか？ (P.7)
2. ベース・アンプなど、接続している機器の電源をオフにします。
3. ME-90B の [POWER] スイッチを押して、電源を切ります。

注意

電源が切れると編集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。

接続した機器の種類を設定する

お使いの機器に合わせて [AMP/LINE] スイッチを設定します。

設定	説明
LINE	ミキサーやパワード・スピーカー、ヘッドホンを接続している場合
AMP	ベース・アンプを接続している場合

ベース・アンプの種類を選ぶ (アウトプット・セレクト)

1. [MEMORY / MANUAL] ペダルを押して、マニュアル・モードに切り替えます (P.6)。
2. [EDIT] ボタンを押します。
3. [BANK▼] [BANK▲] ペダルで、ベース・アンプの種類 (1 ~ 2) を選びます。

表示	説明
1	ツイーター付きのベース・アンプに接続する場合の設定です。
2	ツイーターの付いていないベース・アンプに接続する場合の設定です。

4. [WRITE] ボタンを押します。
設定が保存されます。

音量を調節する (アウトプット・レベル)

1. [OUTPUT LEVEL] つまみで、音量を調節します。

ベースをチューニングする (チューナー)

1. [MEMORY / MANUAL] ペダルを長押し (2 秒以上) します。

チューナーがオンになります。MEMORY / MANUAL インジケーターが黄色に点灯します。

2. 必要に応じて、基準ピッチを合わせます。

[EDIT] ボタンを押すと、基準ピッチが表示されます。

ボタンを押すたびに 435Hz ~ 445Hz まで値が増加します。445Hz を超えると再び 435Hz に戻ります。

2 秒間 [EDIT] ボタンを押さないと、通常のチューナーに戻ります。

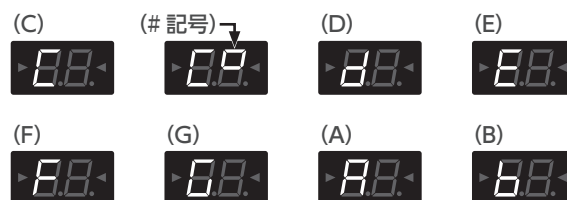
表示	ピッチ
35 ~ 45	435 ~ 445 (Hz)

メモ

- 基準ピッチは一定時間ディスプレイに表示されます。
- 基準ピッチは保存されるので、チューニングのたびに設定する必要はありません。
- 工場出荷時は 44 (440Hz) に設定されています。

3. チューニングする弦を、開放の単音で弾きます。

弾いた弦のピッチに近い音名がディスプレイに表示されます。



4. チューニング・ガイドが両方点灯するようにチューニングします。



5. チューナーをオフにするときは、ペダル・スイッチのいずれかを押します。

チューナー使用時の出力設定

チューナーがオンのときに、OUTPUT 端子 / PHONES 端子 / BALANCED OUTPUT 端子から音を出力するかしないかを設定することができます。

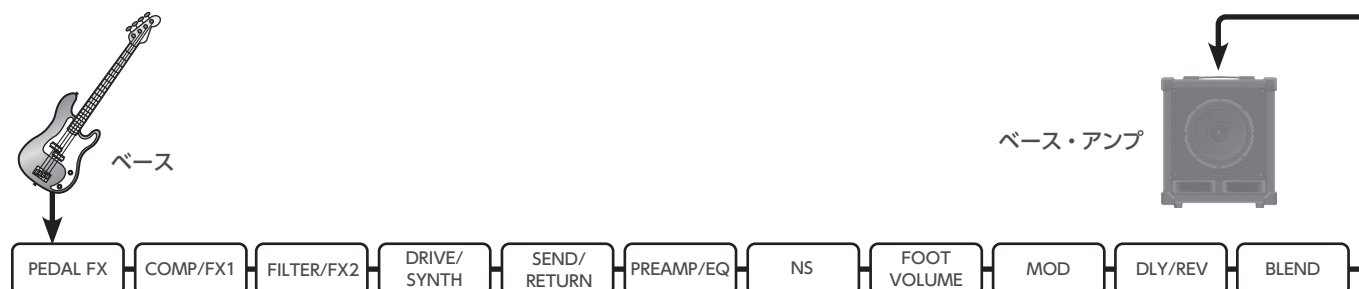
詳しくは「機器全体の設定をする (システム設定)」(P.16) をご覧ください。

※ 音を出力する設定にしたときは、エクスプレッション・ペダルでボリュームを調整することができます。

エフェクトの接続順

ME-90B のエフェクトの主な接続順は、以下のとおりです。

EFFECT CHAIN



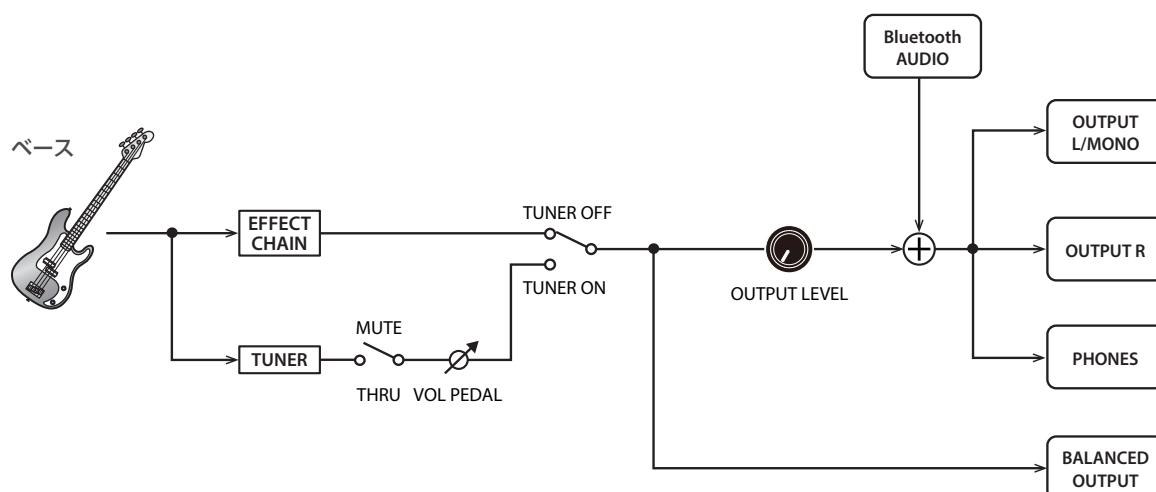
選ばれているエフェクト・タイプにより、最適な接続順に自動で切り替わります。SEND/RETURN の位置は、PREAMP/EQ の後段に変更することができます。詳しくは「機器全体の設定をする (システム設定)」(P.16) をご覧ください。

※ エフェクトの各パラメーターについて、詳しくは『ME-90B パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

エフェクト	説明
PEDAL FX	本体のエクスペッション・ペダルでさまざまな効果が得られます。 エクスペッション・ペダルのつま先部分を、体重をかけるように踏み込んでペダル・エフェクトをオン／オフします。 ペダル・エフェクトがオフのとき、エクスペッション・ペダルは VOLUME (ボリューム・ペダル) として機能します。
COMP/FX1	音量を均一化し、音を歪ませずに延ばす効果 (サステイン) が得られます。また、多様で個性的なエフェクトが選べます。
FILTER/FX2	フィルターを変化させ、ワウ効果を得ることができます。
DRIVE/SYNTH	音を歪ませたり、入力音を加工したりしてシンセ・サウンドを作り出します。
SEND/RETURN	SEND / RETURN 端子に接続した外部エフェクターを、ME-90B のエフェクトの一部として使用することができます。
PREAMP/EQ	プリアンプの特性をモデリングしています。また、音質の調整をします。
NS	ベースのピックアップで拾うノイズやハムを抑えます。
FOOT VOLUME	ペダル・エフェクトがオフのとき、エクスペッション・ペダルは VOLUME (ボリューム・ペダル) として機能します。
MOD	音に広がりを与えたり、うねりを加えたりするエフェクトです。
DLY/REV	音を遅らせ、山びこのような効果が得られます。厚みを加えたり、トリッキーなサウンドを作ったりすることができます。 また、音に残響を加えることができます。
BLEND	ダイレクト音の音量を調節します。

信号の流れ (シグナル・フロー)

ME-90B の信号の流れは、以下のとおりです。



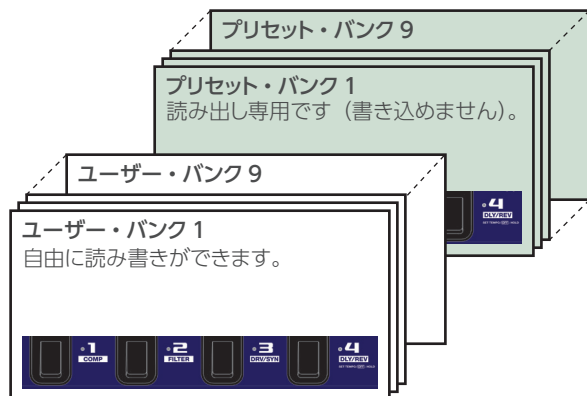
音色を呼び出す／保存する（メモリー・モード）

「メモリー・モード」は、音色の設定を本体に保存し、その保存した内容を読み出して使うことができるモードです。メモリー・モードに対し、ペダルで各エフェクトのオン・オフができるモードを「マニュアル・モード」と呼びます。

メモリーの構成

エフェクトの組み合わせとパラメーターの設定をひとまとめたものを「メモリー」と呼びます。

ME-90B はメモリーを 72 種類記憶しており、次のようにバンク／ナンバーで整理されています。



バンク内の各メモリーは、ナンバー・ペダルに対応しています。

マニュアル／メモリー・モードを切り替える

1. [MEMORY / MANUAL] ペダルを押します。

押すたびに、マニュアル・モードとメモリー・モードが切り替わります。



メモリー・モード	赤点灯
マニュアル・モード	青点灯

メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えたときの動作を設定する

メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えたとき、パネル上のつまみの設定に合わせて音が切り替わるか、メモリー・モードの音色のままにするかを選ぶことができます。

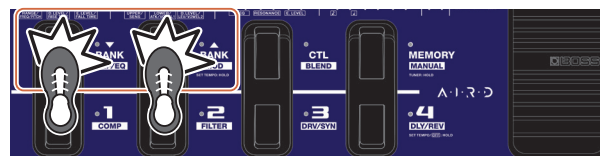
設定方法については「機器全体の設定をする（システム設定）」（P.16）をご覧ください。

表示	説明
00	マニュアル・モードに切り替えるときに、現在のつまみの設定が音に反映されます。
01	マニュアル・モードに切り替えるときに、メモリー・モードの設定をそのまま引き継ぎます。 メモリー・モードでの設定のまま個々のエフェクトをオン・オフすることができます。（工場出荷時設定） マニュアル・モードからメモリー・モードに切り替えたときは、マニュアル・モードの設定が引き継がれます。

音色（メモリー）を呼び出す

メモリーの呼び出し（切り替え）は、[BANK▼] [BANK▲] ペダルとナンバー [1] ～ [4] ペダルを使います。

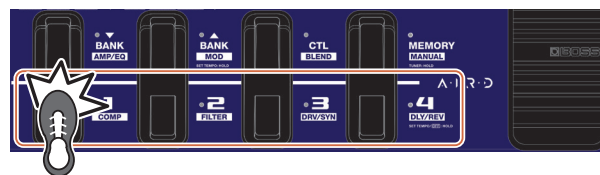
1. [BANK▼] [BANK▲] ペダルを押して、バンク・ナンバーを選びます。



表示	バンク
U1～U9	ユーザー・バンク
P1～P9	プリセット・バンク

2. ナンバー [1] ～ [4] ペダルのいずれかを押します。

手順 1 で選んだバンク・ナンバーのメモリーに切り替わります。



メモ

同じバンク内のメモリーを選ぶときは、手順 1 を省略できます。

つまみの位置を確認する

メモリー・モード（P.6）で音色（メモリー）を呼び出したとき、設定されているパラメーターとつまみが示す位置が異なることがあります。

実際のパラメーターの値をディスプレイに表示させて、確認することができます。

1. [EDIT] ボタンを押しながら、値を確認したいつまみを回します。

つまみの値がディスプレイに表示されます。

つまみの位置と値が一致したら、ディスプレイ左右のチューニング・ガイドが点灯します。



バンクを切り替えたときの動作を設定する

[BANK▼] [BANK▲] ペダルでバンクを切り替えたとき、瞬時に次のメモリーに切り替わるか、ナンバー・ペダルを踏むまでメモリーが切り替わらないかを選ぶことができます。

設定方法は「機器全体の設定をする（システム設定）」（P.16）をご覧ください。

表示	説明
h0	バンク・ペダルを踏んでバンクを切り替えても、ディスプレイの表示が変化だけでメモリーは切り替わりません。ナンバー・ペダルを踏んだ時点でバンクとナンバーが確定され、次のメモリーに切り替わります。（工場出荷時設定）
h1	バンク、ナンバーのいずれかのペダルを踏んだ瞬間に、次のメモリーに切り替わります。

音色を保存する（メモリー・ライト）

つまみの設定をメモリーに保存します。

注意

- メモリー・ライト操作をする前に、電源を切ったり、メモリーを切り替えたりすると、作った音色は消えてしまいます。
- メモリー・ライト操作をすると、保存先のメモリーに保存されていた元の音色は失われます。

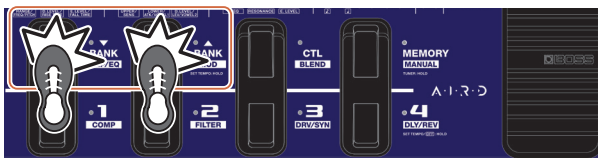
1. [WRITE] ボタンを押します。

ペダル・インジケーターが点滅します。

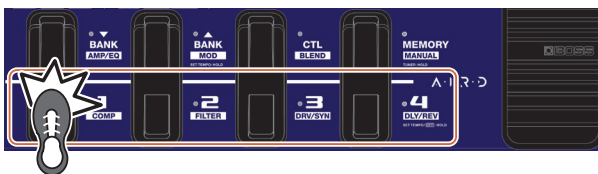


2. 保存先のユーザー・バンク・ナンバー、メモリー・ナンバーを選びます。

- ユーザー・バンク・ナンバーは、[BANK▼] [BANK▲] ペダルを押して選びます（u1 ~ u9）。



- メモリー・ナンバーは、ナンバー [1] ~ [4] ペダルを押して選びます。



※ メモリー・ライトを中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

3. もう一度 [WRITE] ボタンを押します。

OUTPUT LEVEL 以外のすべての音色設定が保存されます。

メモ

- マニュアル・モード、メモリー・モードのどちらでもメモリー・ライト操作はできます。
- メモリー・ライトをすると、メモリー・モードに切り替わります。

メモリーのコピー

コピーしたいメモリーを呼び出したあと（P.6）、そのままメモリー・ライトの操作をします。

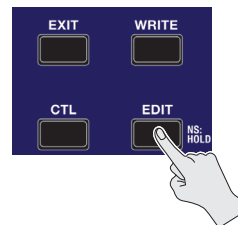
コピー先のメモリー・ナンバーを選んで保存すればコピーができます。

音色の設定を変える（メモリー・エディット・モード）

メモリー・モードのときはエフェクトのオン／オフの変更ができません。エフェクトのオン／オフや音色（メモリー）の設定を変更したいときは、メモリー・エディット・モードにします。

1. 「音色（メモリー）を呼び出す」（P.6）の手順で、設定を変更したいメモリーを呼び出します。

2. [EDIT] ボタンを押します。



ディスプレイに「Ed」と表示されます。メモリー・エディット・モードに切り替わります。

3. つまみ、ペダル、ボタンを使って音色を変更します。

メモリー・エディット・モードではマニュアル・モードと同様に、各ペダル・スイッチはエフェクトのオン／オフとして機能します。

4. 設定を変えた音色を保存したいときは、「音色を保存する（メモリー・ライト）」（P.7）の手順でメモリーを保存します。

メモリー・ライト操作をする前に、電源を切ったり、メモリーを切り替えたりすると、作った音色は消えてしまいます。

演奏テンポに合わせた効果を付ける (タップ・テンポ)

演奏テンポに合わせてペダルを押すことにより、演奏テンポに対して付点8分音符または4分音符のディレイ・タイムが設定できます。

メモ

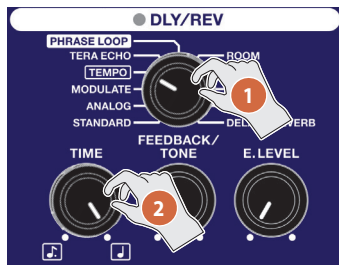
この操作は、マニュアル・モード時の説明です。メモリー・モード時は、現在選ばれているメモリーのナンバー・ペダルを使って同様に操作します。

1. DLY/REV のタイプつまみを「TEMPO」に合わせます。

現在設定されているディレイ・タイムに合わせて、ペダル・インジケーターが点滅します。

2. [TIME] つまみを「1」または「♪」に設定します。

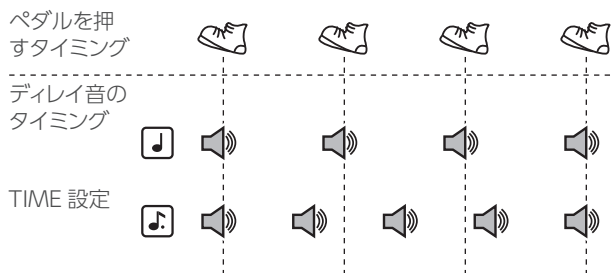
得たいディレイ音のリズムを選びます。



3. 曲のテンポに合わせて、[DLY/REV] ペダルを2回以上押します。

ペダルを押す間隔で、ディレイ音のタイミングが決まります。

ペダルを押した間隔を4分音符として、付点8分音符、または4分音符のディレイ・タイムが設定されます。テンポに合わせて、ペダル・インジケーターが点滅します。



※ ディレイをオフにするときは、[DLY/REV] ペダルを2秒以上押してください。

モジュレーションの速さやディレイ・タイムをペダルで設定する

モジュレーションの速さ（周期）やディレイ・タイムは、つまみで調節できるほかに、好みのタイミングをペダルで設定することができます。

メモ

- この操作は、マニュアル・モード時の説明です。メモリー・モード時は、現在選ばれているメモリーのナンバー・ペダルを使って同様に操作します。
- メモリー・モード時、MODとDLY/REVの両方のエフェクトがオンのときは、ディレイ・タイムのみが設定ができます。

1. タイプつまみで、MOD または DLY/REV の種類を選びます。

メモ

MOD、DLY/REV エフェクトで以下の TYPE を選んでいるときは、ペダルを使用した設定はできません。

エフェクト	ペダルで設定できないタイプ	
MOD	COMP	
	PRE EQ *1、POST EQ *1	
	OVERTONE *1	
DELAY	TERA ECHO	SHIMMER
	PHRASE LOOP	WARP *1
	ROOM	TWIST *1
	HALL	GLITCH *1
	PLATE	

*1 ME-90B 専用アプリ「BOSS TONE STUDIO for ME-90B」(P.13) で選ぶことができるエフェクトです。

2. [MOD] ペダルまたは [DLY/REV] ペダルを2秒以上長押しします。



ペダルを押し始めてから2秒後に、ペダル・インジケーターが点滅します。

3. 好みの速さで [MOD] ペダルまたは [DLY/REV] ペダルを2回以上押します。

ペダルを押す間隔によって、エフェクトの速さが設定されます。音の揺れやディレイ音に合わせて、ペダル・インジケーターが点滅します。

4. もう一度、[MOD] ペダルまたは [DLY/REV] ペダルを2秒以上押し続けます。

速さの設定が終了し、エフェクト・オンの状態になります。ペダル・インジケーターは点灯に変わります。

メモ

設定終了後に[RATE]つまみまたは[TIME]つまみを動かすと、ペダルで設定したエフェクトのタイミングは無効になり、つまみで設定した効果が優先されます。

フレーズ・ループ演奏をする

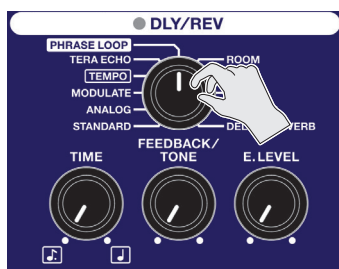
最大 38 秒までの演奏内容を録音し、その内容を繰り返し再生させることができます。繰り返し再生に合わせて別の演奏を重ねて録音（オーバーダビング）することもできます。録音した内容をバックに演奏を続けるなど、特殊な効果を生み出します。

メモ

この操作は、マニュアル・モード時の説明です。メモリー・モード時は、現在選ばれているメモリーのナンバー・ペダルを使って同様に操作します。

1. DLY/REV のタイプつまみを「PHRASE LOOP」に合わせます。

録音待機状態になり、ペダル・インジケーターが一定の間隔で白点滅します。



2. [DLY/REV] ペダルを押します。

[DLY/REV] ペダルを押すと同時に録音が始まります（ペダル・インジケーターが赤点灯します）。



3. もう一度、[DLY/REV] ペダルを押します。

録音が終了します。

録音終了と同時に、録音した内容の繰り返し再生が始まります（ペダル・インジケーターが青点灯します）。

メモ

非常に短い録音をした場合、発振したような音に聞こえることがあります。

4. 重ねて録音（オーバーダビング）するときは、手順 2～3 を繰り返します。

オーバーダビング中はペダル・インジケーターが黄点灯します。

メモ

TYPE つまみを切り替えたり、電源をオフにしたりすると録音内容が消去されます。

5. [E. LEVEL] つまみで、再生音の音量を調節します。

6. ループ再生を終了するときは、[DLY/REV] ペダルを素早く 2 回押します。

再生待機状態に戻ります。ペダル・インジケーターが青点滅します。

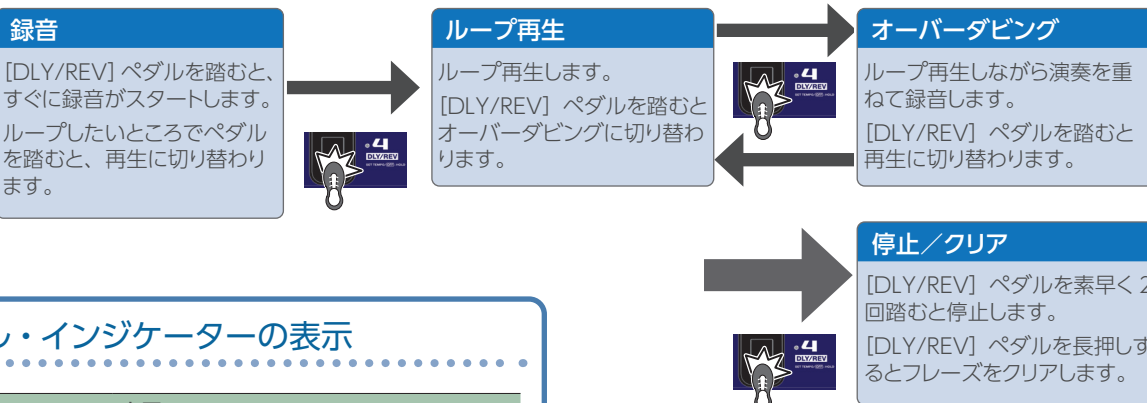
7. [DLY/REV] ペダルを押して、再生を開始します。

8. 録音内容を消去するときは、[DLY/REV] ペダルを長押しします。

ペダル・インジケーターが白点滅し、録音待機状態になります。

メモ

[DLY/REV] ペダルを 2 回押すときは、1 秒以内の間隔で押してください。



ペダル・インジケーターの表示

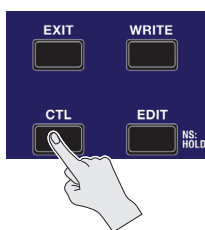
状態	表示
待機	白点滅（録音なし）
	青点滅（録音あり）
録音	赤点灯
オーバーダビング	黄点灯
ループ再生	青点灯

[CTL] (コントロール) ペダルの機能を設定する

ME-90B のメモリー・モードでは、[CTL] ペダルを使って複数のエフェクトを一度にオン/オフしたり、指定したエフェクト設定つまみ (1 つのみ) の設定値を、瞬時に特定の値に切り替えたりすることができます。[CTL] ペダルの設定はメモリーごとに記憶することができます。

ペダルの機能を設定する

1. [MEMORY / MANUAL] ペダルを押して、メモリー・モードに切り替えます (P.6)。
2. [CTL] ボタンを押して、CTL 設定モードに切り替えます。



エフェクトのオン/オフを設定する場合

3. エフェクトのオン/オフを設定したいエフェクトのペダルを押して選びます。



選択を解除するときは、もう一度ペダルを押してください。
オン/オフが切り替わるエフェクトのペダル・インジケーターが点滅します。

メモ

BLEND を選んだときに、BLEND の代わりに SEND/RETURN をオン/オフすることができます。詳しくは「機器全体の設定をする (システム設定)」(P.16) をご覧ください。

特定のつまみの値を設定する場合

3. 値を切り替えたいつまみを、好みの値に調節します。

設定を解除するには、エフェクトのオン/オフを設定してください。

※ 各エフェクトの TYPE つまみの値は設定できません。

メモ

メモリー・ライトする前に、[MEMORY / MANUAL] ペダルで設定した効果を確認することができます。

[CTL] ペダルを機能させないようにするときは、すべての設定をオフにしてください。

4. 「音色を保存する (メモリー・ライト)」 (P.7) の手順で、設定を保存します。

CTL 設定モードの表示

- エフェクトのオン/オフが設定されている場合、CTL 設定モードに入るとディスプレイに「Et」と表示され、オン/オフが設定されているエフェクトのペダル・インジケーターが点滅します。



- 特定のつまみの値が設定されている場合は、CTL 設定モードに入ると該当するエフェクトのインジケーターが点滅します。さらにディスプレイには「Et」と、値が設定されているつまみの番号が交互に表示されます。



ペダルを押したときの動作を設定する

手順 3 で設定した効果を、ペダルを踏むたびに切り替えるか (TOGGLE)、ペダルを踏んでいる間だけ有効にするか (MOMENTARY) を選ぶことができます。

1. メモリー・モードから [CTL] ボタンを 2 回押します。
TOGGLE / MOMENTARY の設定モードに切り替わります。
2. [BANK▼] [BANK▲] ペダルで、設定を選びます。

表示	設定	説明
ト	TOGGLE	ペダルを踏むたびに効果が切り替わります (エフェクト、オン/オフ設定時の初期設定)。
モ	MOMENTARY	ペダルを踏んでいる間だけ設定した効果が有効になります (つまみの値、設定時の初期設定)。

3. もう一度 [CTL] ボタンを押します。
4. 「音色を保存する (メモリー・ライト)」 (P.7) の手順で、設定を保存します。

メモ

[CTL] ペダルのインジケーターの点灯状態は、オン/オフを切り替えるエフェクトの中で、内部の優先順位に従って、最も優先度の高いエフェクトのインジケーターと連動します。

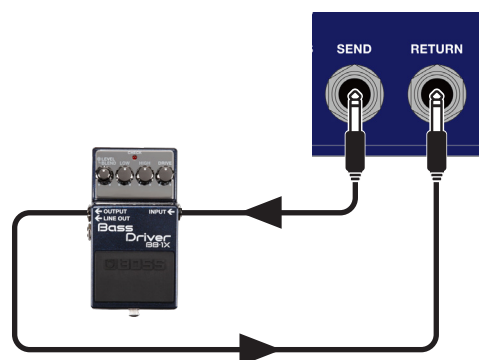
優先順位は以下のとおりです。

COMP/FX1 > FILTER/FX2 > DRIVE/SYNTH > DLY/REV > PREAMP/EQ > MOD > BLEND > PEDAL FX > SEND/RETURN

外部エフェクターを SEND / RETURN 端子に接続して使う

SEND 端子と RETURN 端子の間に外部エフェクターを接続して、ME-90B のエフェクトの一部として使用することができます。

SEND 端子から ME-90B の音を出力して外部エフェクターに入力します。外部エフェクターの出力は RETURN 端子から ME-90B に入力されます。



SEND/RETURN の接続位置とフットスイッチによるオン／オフ機能は、システム設定 (P.16) で変更することができます。

工場出荷時は PREAMP の前段に接続され、オンに設定されています。

RETURN 端子に外部エフェクターが接続されていないときは SEND 端子から音が出力されません。

メモ

- [EDIT] ボタンを押しながら [CTL] ペダルを押すと、SEND/RETURN をオン／オフすることができます。
- SEND/RETURN のオン／オフの状態はメモリーごとに記憶することができます。

表示	設定
0	オフ
1	オン

エクスプレッション・ペダルの調整

ME-90B のエクスプレッション・ペダルは、最適な動作をするように工場出荷時に調整してありますが、経年変化や使用環境によって、この調整がズれる場合があります。

「エクスプレッション・ペダル・スイッチが反応しない」「ボリューム・ペダルで音が完全に消えない」などの症状が現れたときは、エクスプレッション・ペダルの調整をしてください。

1. [MEMORY / MANUAL] ペダルを押して、マニュアル・モードに切り替えます (P.6)。

2. [CTL] ボタンを押しながら [DLY/REV] ペダルを押します。

ディスプレイに「Pd」→「UP」と表示されます。

3. エクスプレッション・ペダルのかかと部分を踏んで足を離し、[WRITE] ボタンを押します。

ディスプレイに「dn」と表示されます。

4. エクスプレッション・ペダルのつま先部分を踏んで足を離し、[WRITE] ボタンを押します。

ディスプレイに現在のエクスプレッション・ペダル・スイッチの硬さ（感度）が表示されます。

設定値：1～9

メモ

手順 3 と 4 で、かかと部分、つま先をいっぱいまで踏み込まずに [WRITE] ボタンを押すとディスプレイの表示が点滅します。ディスプレイ表示が点滅したら、エクスプレッション・ペダルをいっぱいまで踏み込んでから [WRITE] ボタンを押してください。

5. [BANK▼] [BANK▲] ペダルでエクスプレッション・ペダル・スイッチの硬さ（感度）を調節します。

小さな値ほど、軽い踏み込みでスイッチが反応します。

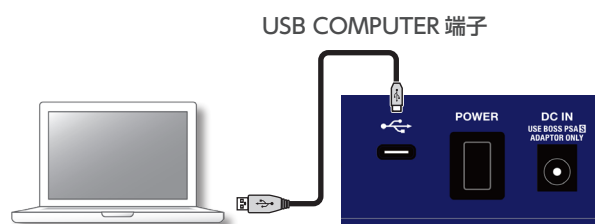
エクスプレッション・ペダルのつま先部分を踏み込むと、PEDAL FX インジケーターが点灯します。

6. [WRITE] ボタンを押します。

設定が記憶されます。

パソコンと USB 接続して使う

ME-90B では、USB を使って、パソコンとの間でデジタル・オーディオ信号や MIDI メッセージを送受信することができます。



USB ドライバーのインストール

専用ドライバーを使用して、高音質かつ安定したタイミングでオーディオの録音／再生／編集をすることや、MIDI 情報で ME-90B をコントロールすることもできます。

ME-90B 専用ドライバーは、ボスのホームページ (<https://www.boss.info/jp/support/>) よりダウンロードすることができます。

USB 接続をする前に、専用ドライバーのインストールをしてください。

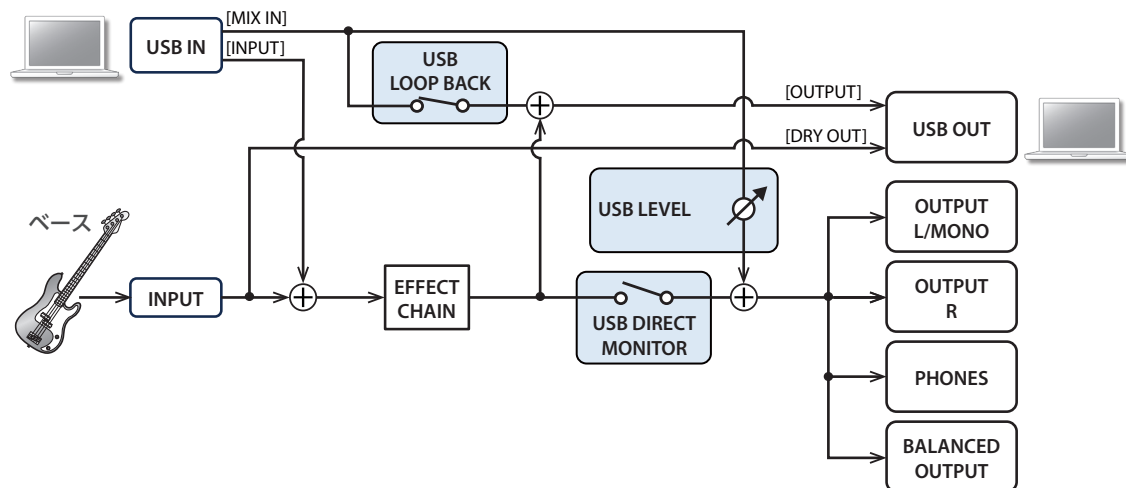
ドライバーはご使用の環境によってインストールするプログラム、手順が異なりますので、ダウンロードしたファイルの中に収録されている Readme をよく読んで上でお使いください。

パソコンと ME-90B の間でオーディオ信号を送受信する (USB オーディオ)

ME-90B の音をパソコンに録音したり、パソコンの音を ME-90B の OUTPUT 端子／PHONES 端子／BALANCED OUTPUT 端子から出力したりすることができます。

USB オーディオの入力は [INPUT] と [MIX IN] の 2 系統、出力は [OUTPUT] と [DRY OUT] の 2 系統が選べます。

USB オーディオの流れ



※ 各ソフトウェアの入力元の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

USB オーディオの設定

音の流れを用途に合わせて変更することができます。設定方法については「機器全体の設定をする (システム設定)」(P.16) をご覧ください。

設定項目	説明
USB LEVEL	ME-90B のエフェクトを通過してきた音にミックスする、パソコンからの入力音のレベルを調節します。
USB DIRECT MONITOR	ME-90B の音を、OUTPUT 端子／PHONES 端子／BALANCED OUTPUT 端子に出力するかどうかを切り替えます。
USB LOOPBACK	パソコンからの入力音を USB OUT に出力するかどうかを切り替えます。

パソコンとME-90Bの間でMIDI情報を送受信する (USB MIDI)

パソコンのDAWソフトやME-90B専用アプリを使ってME-90Bを操作したり、音色のエディットやメモリー管理をしたりすることができます。

ME-90B 専用アプリを使う

専用アプリ「BOSS TONE STUDIO for ME-90B」では以下のことができます。

- ユーザー・バンクのメモリーの設定を編集できます。
- ユーザー・バンクのメモリーに名前を付けることができます。
- ユーザー・バンクのメモリーの順番を並べ替えたり、入れ替えたりすることができます。
- メモリー・ダウンロード・サイトからメモリーを簡単に本体にダウンロードできます。
- ユーザー・バンクのメモリーと本体の設定のバックアップを保存したり、バックアップした設定に戻したりすることができます。
- BOSS TONE STUDIO for ME-90B のみで選ぶことができるエフェクトを使用することができます。
- IR ロードを起動し、IR データ (Impulse Response) の取り込みができます。

専用アプリは、ボスのホームページ (<https://www.boss.info/jp/support/>) よりダウンロードすることができます。

メモリー・ナンバーの切り替え

DAW ソフトなどからのプログラム・チェンジ情報に対応して、ME-90B のメモリーが同時に切り替わります。

コントロール・チェンジ情報の受信

コントロール・チェンジ情報を受信して、指定したパラメーターを演奏中にコントロールすることができます。

MIDI で送受信できる情報

ペダル	コントロール・チェンジ	値
エクスプレッション・ペダル	CC#11	0 ~ 127
ペダル・エフェクトオン/オフ (EXP SW)	CC#82	オン: 127 オフ: 0
[CTL] ペダル	CC#80	ペダルを押したとき: 127 ペダルを離したとき: 0

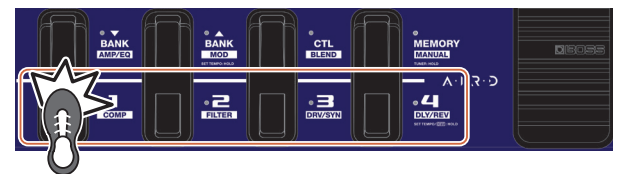
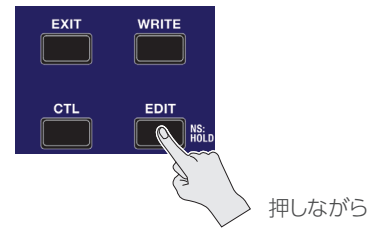
IR データを取り込んでスピーカー・シミュレーターとして使用する

専用 IR ロード (ソフトウェア) を使って IR データ (Impulse Response) を本体にロードすることにより、スピーカー・シミュレーターとして使用することができます。

専用 IR ロードは、専用アプリ BOSS TONE STUDIO for ME-90B から起動できます。

ロードする方法は『BOSS TONE STUDIO for ME-90B の使いかた』(Web) をご覧ください。

[EDIT] ボタンを押しながら [1] [2] [3] [4] ペダルでスピーカー・シミュレーターを選ぶことができます。



ペダル	表示	スピーカー・シミュレーター
[1]	0	PREAMP のタイプごとにチューニングされて ME-90B に搭載しているオリジナルのスピーカー・シミュレーターを使用します。 (工場出荷時設定)
[2]	1	USER 1 にロードした IR データを使用します。
[3]	2	USER 2 にロードした IR データを使用します。
[4]	3	USER 3 にロードした IR データを使用します。

※ 工場出荷時は USER 1 ~ 3 に IR データは搭載されていません。

メモ

スピーカー・シミュレーターはメモリーごとに選んで記憶することができます。

[AMP/LINE] スイッチの設定により、出力先に応じた最適な出力が可能になります。

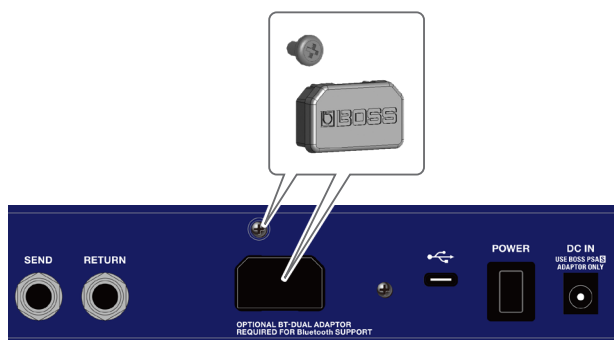
ワイヤレスでモバイル機器と接続する

ME-90B に別売りの **Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor (BT-DUAL)** を取り付けることで、ワイヤレスでモバイル機器の音楽を再生したり、モバイル機器にインストールした専用アプリからエフェクトをエディットしたりすることができます。

BT-DUAL を取り付ける

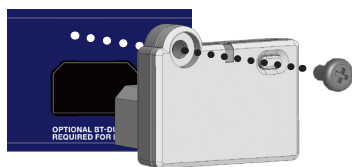
ME-90B の Bluetooth ADAPTOR 端子に BT-DUAL を取り付けます。

1. BT-DUAL を取り付ける前に、ME-90B の電源を切つて、AC アダプターをコンセントから抜きます。
2. リア・パネルの、Bluetooth ADAPTOR 端子のカバーとネジをはずします。



3. BT-DUAL を取り付け、手順 2 ではずしたネジで固定します。

必ず ME-90B 側のねじ穴と BT-DUAL 側のねじ穴が合うように取り付けてください。



注意

- 必ず Bluetooth ADAPTOR 端子にあるネジを使ってください。他のネジを使うと故障の原因になります。
- 回路部や端子部には手を触れないでください。
- 取り付けを終えたら、正しく取り付けられていることを再度確認してください。

モバイル機器とワイヤレスで接続して音を聞く

Bluetooth® オーディオ機能

Bluetooth オーディオ機能をもったモバイル機器で再生した音楽を、ME-90B の OUTPUT 端子や PHONES 端子から出力することができます。

BALANCED OUTPUT 端子には出力されません。

モバイル機器を登録する（ペアリング）

「ペアリング」とは、使いたいモバイル機器を ME-90B に登録する（お互いに認証する）ための手続きです。

モバイル機器に保存している音楽データを、ワイヤレスで ME-90B から再生するための設定をします。

メモ

以下の操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. ME-90B の電源を入れます。
2. 接続したいモバイル機器を ME-90B 周辺に置きます。
3. Bluetooth インジケーターが高速点滅するまで、BT-DUAL のペアリング・ボタンを長押しします。

Bluetooth インジケーター



4. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



5. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「ME-90B Audio」をタップします。

BT-DUAL とモバイル機器がペアリングされます。

ペアリングが成功すると、モバイル機器の「自分のデバイス」リストに「ME-90B Audio」が追加されます。

※ 一定時間ペアリングを実行しないと、Bluetooth インジケーターが消灯しペアリング待機状態が解除されます。

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. BT-DUAL の Bluetooth インジケーターがオフのとき、ペアリング・ボタンを押します。
2. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



メモ

- 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「ME-90B Audio」をタップしてください。
- 切断するときは、BT-DUAL のペアリング・ボタンを押して Bluetooth インジケーターを消灯するか、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。

Bluetooth 機能を無効にする

BT-DUAL とモバイル機器の Bluetooth 接続を切るときは、Bluetooth 機能を無効にします。

モバイル機器と Bluetooth 接続しないときは、電池での駆動時間を長持ちさせるため、Bluetooth 機能を無効にしておくことをおすすめします。

1. BT-DUAL のペアリング・ボタンを押します。

Bluetooth インジケーターは消灯します。

モバイル機器の専用アプリから ME-90B を操作する

専用アプリ BOSS TONE STUDIO for ME-90B を使って、エフェクトをエディットしたり、本機の設定を保存したりすることができます。

BOSS TONE STUDIO for ME-90B の詳細については、ボスのホームページをご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/>

専用アプリと接続する

モバイル機器の専用アプリを使えるようにする設定をします。

※ 専用アプリと接続するときは、モバイル機器の Bluetooth 設定ではなく、専用アプリ内の設定から接続します。

メモ

以下の操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. ME-90B の電源を入れます。
2. 接続したいモバイル機器を ME-90B 周辺に置きます。
3. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



※ Bluetooth オーディオに接続していると、BT-DUAL の Bluetooth インジケーターが点灯します。この時点では、専用アプリとの接続は完了していないためご注意ください。

4. 専用アプリ内の設定から、「ME-90B MIDI」と接続します。

※ モバイル機器の Bluetooth 設定に表示されている「ME-90B Audio」や「ME-90B MIDI」などをタップしないでください。

EV-1-WL / FS-1-WL とワイヤレスで接続して ME-90B を操作する

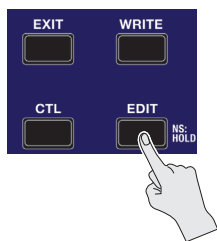
別売のワイヤレス・エクスプレッション・ペダル (EV-1-WL) や、ワイヤレス・フットスイッチ (FS-1-WL) を接続することができます。詳しい接続方法については、『EV-1-WL 接続ガイド (ME-90B と接続する)』(Web)、『FS-1-WL 接続ガイド (ME-90B と接続する)』(Web) をご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/support/>

機器全体の設定をする（システム設定）

1. [MEMORY / MANUAL] ペダルを押して、マニュアル・モードに切り替えます（P.6）。

2. [EDIT] ボタンを押して、設定する項目を選びます。



[EDIT] ボタンまたは [CTL] ボタンを押すたびに、設定する項目が変わります。

[EDIT] ボタン 次の項目を選びます。

[CTL] ボタン 1 つ前の項目を選びます。

3. [BANK▼] [BANK▲] ペダルで、設定値を選びます。

4. [WRITE] ボタンを押します。

設定が記憶されます。

設定項目一覧

設定項目	表示	説明
OUTPUT SELECT	1 ~ 2	OUTPUT 端子に接続するアンプを指定します（P.4）。
つまみの動き	n 0	つまみを操作すると、即座にパラメーターの値が変化します（工場出荷設定）。
	n 1	つまみの位置が現在のパラメーターの値と一致した時点から値が変化します。
USB LEVEL	L 0 ~ L 9	ME-90B のエフェクトを通過してきた音にミックスする、パソコンからの入力音のレベルを調節します。
USB DIRECT MONITOR ※ 電源投入時設定は	d 0	ME-90B の音を、OUTPUT 端子 / PHONES 端子 / BALANCED OUTPUT 端子に出力しません。
	d 1	ME-90B の音を、OUTPUT 端子 / PHONES 端子 / BALANCED OUTPUT 端子に出力します。
USB LOOPBACK	b 0	パソコンからの入力音を USB OUT に出力しません。
	b 1	パソコンからの入力音も USB OUT に出力します。
MIDI チャンネル	C 1 ~ C 9、 C 0 ~ C 5	ch 1 ~ ch 9、ch 10 ~ ch 16
チューナー使用時の出力設定	t 0	チューナー使用時に音が出ません。
	t 1	チューナー使用時にダイレクト音が出ます。
バンク切り替え時の動作	h 0	バンク・ペダルを踏んでバンクを切り替えても、ディスプレイの表示が変化するだけでメモリーは切り替わりません。ナンバー・ペダルを踏んだ時点でバンクとナンバーが確定され、次のメモリーに切り替わります。（工場出荷時設定）
	h 1	バンク、ナンバーのいずれかのペダルを踏んだ瞬間に次のメモリーに切り替わります。

設定項目	表示	説明
マニュアル・モード切り替え時の動作	n 0	メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えるときに、現在のつまみの設定が音に反映されます。
	n 1	メモリー・モードからマニュアル・モードに切り替えるときに、メモリー・モードの設定をそのまま引き継ぎます（工場出荷時設定）。マニュアル・モードからメモリー・モードに切り替えたときは、マニュアル・モードの設定が引き継がれます。
SEND/RETURN の接続位置設定	5 0	PREAMP/EQ の前段に SEND/RETURN が接続されます。 歪みペダルなどの接続に最適です（工場出荷時設定）。
	5 1	PREAMP/EQ の後段に SEND/RETURN が接続されます。 ディレイ・ペダルなどの接続に最適です。
エフェクト・オフやメモリーの切り替え時にエフェクト音を残す／残さない	a 0	メモリーを切り替えたときに、DLY/REV で選んでいるエフェクトのディレイ／リバース音を残しません。 MOD の DELAY は設定の対象外です。
	a 1	メモリーを切り替えたときに、DLY/REV で選んでいるエフェクトのディレイ／リバース音を残します（工場出荷時設定）。MOD の DELAY は設定の対象外です。
LED 点灯色の設定	E 0	全 10 色を使い表示します（工場出荷時設定）。
	E 1	白の単色表示と、色変化の判別がしやすい赤／黄／青の 3 色のみで状態を表示します。 色の識別が困難な場合や、クラシックなディスプレイの外観が好きな場合におすすめのモードです。
BLEND フットスイッチの機能設定	r 0	マニュアル・モードで BLEND をオン／オフします（工場出荷時設定）。
	r 1	マニュアル・モードで SEND/RETURN をオン／オフします。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

エクスプレッション・ペダルの調整（P.11）を除く、ME-90B に記憶されている設定（ユーザー・メモリー、チューナーの基準ピッチ、つまみの反応のしかたなど）を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. **[MEMORY / MANUAL]** ペダルを押して、マニュアル・モードに切り替えます（P.6）。
2. **[CTL]** ボタンを押しながら **[DRV/SYN]** ペダルを押します。



押しながら

ディスプレイに「FR」と表示されます。

3. **[WRITE]** ボタンを押します。

チューニング・ガイドが点滅します。

4. もう一度 **[WRITE]** ボタンを押します。

ディスプレイが点滅し、ファクトリー・リセットが実行されます。

※ ファクトリー・リセットの実行中は、絶対に電源を切らないでください。

トラブルシューティング

症状	確認事項	原因／対策
音に関するトラブル		
音が出ない／音が小さい	接続ケーブルが断線していませんか？	接続ケーブルを交換してみてください。
	他の機器と正しく接続されていますか？	他の機器との接続を確認してください (P.3)。
	接続しているアンプ／ミキサーの電源が入っていない、またはボリュームが下がっていませんか？	接続している機器の設定を確認してください。
	[OUTPUT LEVEL] つまみが下がっていませんか？	つまみを適切な位置に調節してください (P.4)。
	チューナーがオンになっていませんか？	チューニング中はエフェクトがかかりません。
	チューナー使用時の出力設定が d に設定されていませんか？	f に設定してください (P.16)。
	各エフェクトは正しく設定されていますか？	各エフェクトの設定内容を確認してください。
	「USB LEVEL」 (P.16) が小さな値になっていませんか？	適切な値に調節してください。
	電池が減っていませんか？	新しい電池と交換してください。
INPUT 端子に接続している機器の音がヘッドホンで聴こえない	「USB DIRECT MONITOR」 (P.16) が d になっていませんか？	f にしてください。
発振音がする	エフェクトの設定で、ゲインの値や音量に関するパラメーターの値が大きすぎませんか？	値を小さくしてください。
その他のトラブル		
メモリーが切り替わらない	バンク切り替え時の動作の設定 (P.16) が h になっていませんか？	バンク切り替え時の動作の設定 (P.16) が h になっているときは、ナンバー [1] ～ [4] ペダルを押すまでメモリーは切り替わりません。
パラメーターが思ったようにコントロールできない	エフェクトがオフになっていませんか？	エクスプレッション・ペダルやフットスイッチで操作するときには、コントロールするパラメーターを含むエフェクトがエフェクト・オンになっていることを確認してください。
	MIDI コントローラー・ナンバーが一致していますか？	使用しているコントローラー・ナンバーが一致していることを確認してください (P.13)。
	エクスプレッション・ペダルの調整がズレていませんか？	ME-90B のエクスプレッション・ペダルは、最適な動作をするように工場出荷時に調整してありますが、経年変化や使用環境によって、この調整がズレる場合があります。エクスプレッション・ペダルの調整をしてください (P.11)。
フレーズ・ループで作成したフレーズが保存できない	ME-90B は、フレーズ・ループで作成したフレーズを保存することはできません。	
Android デバイスに Bluetooth 接続できない	Android デバイスの位置情報がオフに設定されていませんか？	位置情報がオフに設定されていると Bluetooth 接続できないことがあります。Android デバイスの位置情報をオンにしてから、Bluetooth 接続をお試しください。

主な仕様

サンプリング周波数	48kHz
AD 変換	24 ビット + AF 方式 ※ AF 方式 (Adaptive Focus method) は、AD コンバーターの SN 比を飛躍的に向上させるローランド/ボス独自の方式です。
DA 変換	32 ビット
内部演算	32 ビット浮動小数点
エフェクト・タイプ	93 種類
メモリー	36 (ユーザー) + 36 (プリセット)
フレーズ・ループ	38 秒 (モノ)
チューナー内部検出精度	± 0.1 cent
規定入力レベル	INPUT: -10dBu RETURN: -10dBu
最大入力レベル	INPUT: +7dBu RETURN: +7dBu
入力インピーダンス	INPUT: 1MΩ RETURN: 1MΩ
規定出力レベル	OUTPUT L/MONO、R: -10dBu PHONES: -10dBu SEND: -10dBu BALANCED OUTPUT: -10dBu
出力インピーダンス	OUTPUT L/MONO、R: 1kΩ PHONES: 44Ω SEND: 1kΩ BALANCED OUTPUT: 600Ω
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT L/MONO、R: 10kΩ以上 PHONES: 44Ω以上 SEND: 10kΩ以上 BALANCED OUTPUT: 600Ω以上
ディスプレイ	7 セグメント 2 桁 (LED) チューニング・ガイド (LED)
接続端子	INPUT 端子、OUTPUT (L/MONO, R) 端子、SEND 端子、RETURN 端子: 標準タイプ BALANCED OUTPUT 端子: XLR タイプ PHONES 端子: ステレオ・ミニ・タイプ USB COMPUTER 端子: USB Type-C® Bluetooth ADAPTOR 端子: 専用タイプ DC IN 端子
電源	アルカリ電池 (単 3 形) × 4 AC アダプター
消費電流	195mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池: 約 6 時間 ※ 電池の仕様、容量、使用状態によって異なります。
外形寸法	443 (幅) × 220 (奥行) × 67 (高さ) mm ペダル傾き最大時 443 (幅) × 220 (奥行) × 93 (高さ) mm
質量 (電池含む)	2.9kg
付属品	スタートアップ・ガイド アルカリ電池 (単 3 形) × 4 「安全上のご注意」チラシ 保証書
別売品	AC アダプター: PSA-100S Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor: BT-DUAL キャリング・バッグ: CB-ME80、CB-BU10

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。